



謹賀新年

2018

## 代表理事挨拶

## 謹賀新年

平成 30 年 明けましておめでとうございます。

旧年中は、会員並びに関係者各位の皆様方には大変お世話になり感謝申し上げます。

本年は介護保険法改正、介護報酬と診療報酬改定のトリプル改定が行われます。介護報酬・診療報酬はプラス改定とされていますが、手厚い介護や新たな加算を人材不足の今、取得するのは非常に困難と考えます。九州北部豪雨の復興も待ったなしです。当協議会として、去年のソフトバンク優勝のように会員全員で力を合わせ、“ワンダホーな一年”になりますよう取り組んで参ります。

末尾に、本年もご指導ご鞭撻をお願い申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。



代表理事 出水 清治

## 事業報告 I 平成 29 年度第 2 回スタッフセミナー

## 「ケアに活かす環境作り」

～インテリアリハビリテーションの概念と実践方法（整理収納・室内装飾）～

訪問リハビリ部会 甘木中央病院 安 智子

平成 29 年 11 月 16 日（木）、めくばーる町民ホールにて平成 29 年度第 2 回スタッフセミナーが開催されました。今回は、株式会社リハブインテリアズ、代表取締役 池田由里子氏を講師に迎え講演をしていただきました。

講演では、インテリアリハビリテーションの概要と実践方法（整理収納・室内装飾）を学びました。インテリアリハビリテーションとはインテリアデザインや環境作りをすることで、人々が場から癒され、元気になれる事であり、ケアをより良い方向へ導き出せると言われておりました。又、環境作りは作業の効率化ができ、利用者様とのコミュニケーションの時間が増え、安全・安心・働きやすい職場にすることができる等の効果があるそうです。実践方法として、整理整頓と室内装飾のポイントを教えて頂き、施設や自宅等で活用できる内容でした。写真等でビフォー・アフターを紹介していただき、ちょっとした工夫で見た目が変わり、それによる精神的な効果を自分自身が感じることができました。

今までのスタッフセミナーの内容とは違い、ソフト面（専門性・接遇等）だけでなく、ハード面（環境）の調整も大切だということを知ることができた良い講演となりました。



上：講師の池田由里子氏  
下：スタッフセミナーの様子

協議会ホームページへ今すぐアクセス！ <http://asakura.in>

朝倉介護

検 索

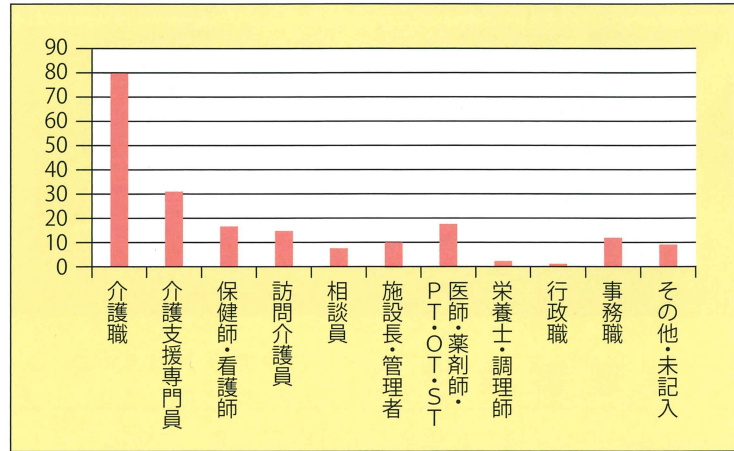


# 平成 29 年度 第 2 回スタッフセミナーアンケート結果

2017/11/16 町民ホール

## (1) 参加者の状況

参加者数 301 名		
一般		
1	介護職	80
2	介護支援専門員	31
3	保健師・看護師	17
4	訪問介護員	15
5	相談員	8
6	施設長・管理者	10
7	医師・薬剤師・PT・OT・ST	18
8	栄養士・調理師	2
9	行政職	1
10	事務職	12
11	その他・未記入	9
合 計		203



## (2) アンケートの集計

### ① 勤務されている業種

業 種	
居宅介護支援	22
訪問介護・入浴	10
訪問看護	3
訪問リハビリ	3
通所介護	7
通所リハビリ	17
支援センター	3
居宅療養管理	0
グループホーム	16
介護福祉施設	17
介護保健施設	32
小規模多機能	3
病院・医院	0
行政	2
福祉用具貸与・住宅改修	4
その他	3
未記入	5
合 計	147

### ② 現在の職種

職 種	
介護職	60
相談員(病院・施設・福祉用具貸与)	8
訪問介護員	10
介護支援専門員	19
看護師	12
保健師	4
OT	2
PT	8
ST	3
医師	0
薬剤師	1
栄養士	3
調理師	0
管理者	3
事務職	9
行政職	2
その他	2
未記入	1
合 計	147

### ③ 経験年数

経験年数について		
1	1年未満	19
2	1年以上3年未満	19
3	3年以上5年未満	20
4	5年以上10年未満	37
5	10年以上	47
6	未記入	5
合 計		147

### ④ 講義内容について

アンケート回答者数 147 名		
1	非常に良かった	45
2	良かった	79
3	どちらともいえない	7
4	あまり良くなかった	7
5	良くなかった	3
6	未記入	6
合 計		147
アンケート回答率 72.4%		

## (3) ご意見をお聞かせ下さい

① 講義内容に関するご意見	ずっと気になっていた物品庫や倉庫の整理に取り組みはじめた所だったのでグルーピング、整理収納に取り組みたい。
	環境が精神向上につながる。壁紙や色調など工夫をしていきたいと感じました。収納のコツも大変勉強になりました。心の整理も出来そうです。
	整理整頓が苦手なので、教えて頂いたことを忘れず小さなことから少しずつ始めて行きたいです。整理整頓する事で利用者の方と関わりが増え作業効率が進むというのはいいなと思いました。
	整理収納をする事を再度考える様になりました。掲示物など現在どうなっているか確認したくなりました。
② 今後のスタッフセミナーの内容・在り方	被災地でリハその後の生活での活動、参加内容を経験者の話を聞きたい。
	利用者を意欲的にする方法。
	災害時の施設の対応、実例など。 コミュニケーション力の向上。
③ 協議会への要望等	災害に負けず、影響されずスタッフセミナーを開催して頂き感謝してます。一步一步あさくら…そのものの姿勢です。
	いつも朝倉地域での活動、ありがとうございます。
	とても良い内容でしたが、スライドのみの対応で、読み返すことが出来ませんでした。講師の方に資料もつけて欲しかったです。
	予定オーバーはして欲しくない。短くなる分は良い。



## 事業報告Ⅱ 褥瘡予防研究会

### 第3回講習会 「ポジショニングと移乗動作」

特別養護老人ホーム聖母園 ユニットリーダー 内田 誠大

褥瘡予防研究会では、褥瘡予防に関する知識を様々な視点から捉え、「褥瘡ゼロを目指す」ための活動を行なっています。年4回の講習会を通して、褥瘡の基礎知識や栄養面からみた褥瘡予防など、座学や実技を行う中であらゆる視点から褥瘡予防についての知識を身につける事を目的としています。

10月13日には、介護老人保健施設 アルファ俊聖にて「ポジショニングと移乗動作」をテーマに第3回の講習会を開催させて頂きました。(株)タイカ ウェルネス用品部九州ブロックリーダーの牧孝博様を講師に迎え、介助者にも介助される側にも安心・安楽なベッド上での体位変換方法やクッションを使用してのポジショニングの作り方を学びました。実技を通して実際に体験する事で、介助のポイントはもちろんですが、介助される側がどう感じているかも知る事ができ、参加された皆様からは「さっそく現場で実践していきたい」との声が多く聞かれました。

今後も「褥瘡ゼロを目指す」ために、会員の皆様からの「こんなことが学びたい」と言ったご意見も参考に、あらゆる視点から褥瘡の知識を深める講習会を開催していきたいと思っております。また、褥瘡予防研究会では、コアメンバーも募集しています。会員の皆様の積極的なご協力よろしくお願い致します。



## 事業報告Ⅲ 部会活動報告

### 通所介護部会

ほがらかデイサービスアルファ俊聖 原 多恵

通所介護部会は今年度より1事業所加入され、現在26事業所で活動しています。

今年度は年3回の定例会及び通所リハビリテーション部会との合同部会を開催します。

12月の通所リハビリ部会との合同部会では、車椅子や杖等の福祉用具を使用する際の注意点やメンテナンスの方法を福祉用具部会様から実際に福祉用具を用いながら教えて頂く予定です。

定例会では、「安心介護をしていくために、皆で悩み、皆で解決しましょう。」をテーマに各職種に分かれ、それぞれの抱える悩みを出し合い、グループ討議を行いました。拒否される方の対応や個別訓練・レクリエーション・職員育成(人材確保)と言ったそれぞれの悩みを共有し、自分を振り返る良い機会となりました。

今後も、在宅生活を支えるために、より質の高いサービスの提供を目指して事業所間の意見交換、勉強会に取り組んで行こうと思っております。



## Hobby Box

### ～食とドライブ～

グループホーム 和笑 竹島久美子

私の楽しみは何と言っても食べること。美味しいものを美味しくいただくことに感謝です。中でも『肉』が大好き。1度でいいから、箸でスーッと切れるような熟成された『肉』をレアで食べてみたい！聞くところによると、西鉄久留米駅近くにあるそうなの…。その日を夢みて固い肉で我慢しています。

それともう一つ。ドライブも大好きです。季節を問わず、自然に向かってまっしぐら！

青い空、白い雲、そして点々と赤や黄色に染められていく山々…。

でも私、そんな自然のど真ん中に住んでいるので四季を肌で感じ、目で楽しめる環境にこれまた感謝です。

先日、足元の草花も紅葉することにあらためて気付きました。まわりのイチョウやもみじに負けじと、ただひっそり静かに…。野いちごの葉も綺麗に赤やオレンジや黄色に色付いてて、トゲがあるのも忘れ、思わず摘んでしまいました。

『肉』を食べなくても『ドライブ』に出かけなくても身近なところで秋を満喫できることに幸せを感じています。



## My Way

### スキップ朝倉店の黒岩 大輔さん



黒岩さんは仕事もプライベートも充実している方で、夏は福岡・志賀島辺りでジェットスキー等のマリンスポーツを楽しみ、冬にはスノーボードと一緒にやっていますが、最近では二人とも寒さに堪える年齢となってきたため、今シーズンはまだ滑っていません。また多才で自動車やバイクの整備等も得意で、自分でメンテナンスが出来るほどのレベルです。自宅には古き良き時代を思わせるアメリカンなガレージがあり、アメ車・ハーレーを眺めながら、次のツーリングに向けて愛情こめて整備中だとか…。

仕事仲間としては、自宅訪問の際はご家族とケアマネージャーさんの意見・要望を柔軟に聞き入れながら、スパナをメジャーと水平器に持ち替え、的確な福祉用具の選定が出来る頼れる存在です。

紹介文：介護老人保健施設 ラ・パス 竹下 康一

次回は竹下さんからの紹介「甘木中央病院 訪問リハビリ 安智子さん」です！



## 介護スタッフリレーコラム

### 「成長と感謝」

ケアプランサービスきらく荘 矢野 直美

私は現在、居宅介護支援事業所で管理者をしています。また今年度は居宅介護支援部会の部会長をしています。私が介護に興味を持ったのは約20年前に遡ります。新聞広告のヘルパー2級資格取得の記事を見たのがきっかけでした。「今からは介護の時代かな」という単純な発想からの始まりでした。その後、介護経験を積みながら、ヘルパー1級・介護福祉士・介護支援専門員・主任介護支援専門員の資格取得ができました。介護未経験だった私がこれまで成長できたのは、たくさんの人との出逢いです。やはり人が人を成長させることを実感しています。今でも色々な方々の協力を得ながら前進できている毎日です。

在宅ケアマネージャーとして10年を迎えます。平成30年度の介護保険制度改正に向けて慌ただしくなりそうです。今まで出逢った方々への感謝の気持ちを忘れずに、住み慣れた地域での暮らしが続けられるよう、笑顔や希望に繋がるケアプラン作成を心がけ、在宅生活を支えていきたいと思います。



### 徒然日記

介護老人保健施設サンビレッヂ朝日ヶ丘 介護支援専門員 牟田 透

#### ～充実感を再び～

年々季節の巡りが早く感じるようになり、この春43歳。外見はすっかりオジサンになってしまい3人の子供達と共に運動すれば独り老いて枯れ(置いて行かれ)私のお腹を撫でる様になりました。

学校卒業して20年、現場で介護を学びハツラツと駆け回って体力には自信があったのは遠い昔。今は少し走っては息切れや関節痛と筋肉痛の繰り返しで、何を始めても3日坊主で諦めていました。

そんなある日、職場の同僚と大好きな甲子園の話題で盛り上がり「ソフトボールやりましょう!!!」の一声にまたたく間にメンバーが集まりました。予想以上に同じ想いを抱く同世代や運動の機会を求めている職員がいたことを知りました。その後はケガしない程度の練習を月2回程行っていましたが、先日初めて試合の機会に恵まれました。この時ばかりは全力を尽くし、あの頃感じていた試合の緊張感や一体感、結果を得られる充実感など、職

場の仲間と熱い思いを共有できた最高の時間となりました。仕事も一緒ですね。

先日「せっかく始めた運動がんばってね。」と息子に励まされ今回は継続できそうです。





## 編集後記 番外編 九州北部豪雨を通じて

一般社団法人 朝倉介護保険事業者協議会 広報部 眞田 幸司

平成 29 年 7 月 5 日、私たちは何百年に 1 度の災害に見舞われました。家を流された人、知人、友人、親戚、家族を失った人。大切なものを全て流してしまいました。今も多数の方が住み慣れた地域を出て、仮設住宅等の生活を余儀なくされています。又、悲しみの癒えない遺族の方もいらっしゃいます。まだまだ、復興が始まったばかりですが当時の状況を振り返らせて頂きます。

7 月 5 日当日、私は比良松・杷木地域包括支援センターでいつものように勤務をしていました。朝より降り続く雨。昼の休憩時にはテレビで島根県に記録的短時間大雨情報が発令されたと流れました。他の職員と「大変なことになってるね。」よそ事のように話していました。午後、包括職員全員で施設訪問をする予定で車を走らせました。14 時 50 分頃、車を走らせながら横を見ると、既に氾濫しかけている小さな河川。「これはやばい、引き返そう。」見学先にお断りをし、状況を伝えて早く対応をした方がいいと伝えました。事業所に戻り、他の事業所にも連絡を入れ対策に入りました。その後、河川は氾濫。テレビの映像を見ながら、その濁流に東日本大震災を思い出しました。まさか、朝倉が。家には帰れず、全職員、自宅に帰れなかった利用者と共に施設に泊まりました。

翌日、田畑が湖になっている状況を目の当たりにしました。職員で手分けし近隣の状況を確認。通行止めの標識ばかりで周りの状況が確認できません。帰ってくると鳴りやまない電話。安否確認をしながら、市と連携を取りました。そんな中、逃げ遅れた高齢者夫婦が家の 2 階にいる、裏山が今にも崩れてくる、助けてくれとの電話。包括の男性職員 2 名が助けに行っているですか？と確認にきました。私は「行くな、お前たちも巻き込まれる。自衛隊や警察に任せなさい。」「つながりません。それでは間に合いません」。頭の中で葛藤が続きました。どうするべきか。私は安全を確認して行きなさいと許可を出しました。彼らが戻ってくるまでの間、私は彼らの父母、奥さん、子供の顔が頭の中をぐるぐると回りました。本当にこれでよかったのか。もし、巻き込まれて亡くなったら、なんと説明すればいいのか、私の責任どころで済む話ではない…。足が震えました。彼らから「無事避難所に辿り着きました。」報告を受けた時、涙がでました。そして、一人を助けるのにこれだけの時間と人と労力がかかるのか、思い知らされました。

その日から、行政、医師会、3 包括連携しながら安否確認や避難所をまわり、手分けして対応しました。協議会では部会間の連絡・連携や支援物資が届くためのルートを構築しました。避難所の責任者の方、民生委員、ボランティアの方、駆けつけてくれた多くの縁故ある人たち。一生懸命、自分のことを後回しにして対応してくださいました。皆さん、毎日、休むこともなく朝から夜遅くまで。時には対応が遅いとお叱りを受けたこともありましたが、ぐっと我慢して対応しました。

今、当時を振り返り、思うことがあります。本当に対応が遅かったのか。中には遅かった事実もあるでしょう。それでも想像をはるかに超えた災害。誰かを責めるわけでもなく、皆で協力しながら策を練り対応しました。かけがえのないふるさとのために。そこに暮らす人々のために。

「自助 共助 公助」という言葉があります。自分たち、地域、行政、それぞれで助け合う、どれが欠けてもいけないことだと痛感しました。行政任せ、地域任せではいけない、自分達でどうかしないといけないこともある。事前に「崖が崩れますよ」とわかるはずもない。自らが被災して気づきました。

そして、「互助」。協議会発足当時の先輩方が、職種を超えて各セクションが活動しやすくなるための組織づくりをされました。私たち協議会是一般社団法人化した今、「互いに」出来ることは何なのか、会員一人一人が考える時期に来ているのではないかと思います。

年は明けても復興は続きます。これからもそれぞれが出来ることを精一杯行って、そして、皆さんで助け合い協力して乗り越えていきましょう。そして、1 日でも多く笑顔で過ごせる日々を送りましょう。頑張ろう朝倉。頑張ろう東峰村。頑張ろう協議会。

### 事務局

朝倉介護保険事業者協議会 事務局  
〒 838-0068 福岡県朝倉市甘木 199-1  
医療法人社団 俊聖会  
介護老人保健施設 アルファ俊聖  
TEL 0946-22-5551 FAX 0946-24-4688

### 編集／発行所

朝倉介護保険事業者協議会  
〒 838-1315 福岡県朝倉市入地 2262-1  
社会福祉法人 朝倉恵愛会  
いしずえ荘 在宅部  
TEL 0946-23-8823 FAX 0946-23-8813  
印刷／井上総合印刷株式会社